

(参考) 公共工事等における新技術活用システムの概要

民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用・評価し、技術開発を促進していくためのシステム。

公共工事等における新技術活用システム

新技術データベース
『NETIS』
Web上で情報提供
<http://www.netis.mlit.go.jp>



登録

公共工事等に関する、
実用化された技術を
申請、登録

各地方整備局 **技術事務所**
等にて受付



NETIS
(評価情報)
約850件

NETIS
(申請情報)
約2,800件

(件数: H30.4時点)

活用

直轄工事等において、施
工条件等に適した新技術
を活用

- ・年間約**5,200件(44%)**の
直轄工事で活用
- ・活用延べ新技術数は、年
間約**19,000技術**



事後評価

技術の成立性や活
用効果等を**5件以上**
の活用結果に基づ
き評価



有用な技術の積極的な活用

更なる技術の開発・改良
技術開発成果(有用な技術)の普及

現場活用を迅速化する取組の強化(H28から)

直轄工事等における現場
ニーズに沿ったテーマを設定

テーマ設定

公募

適合性の検証

試行調査

適合技術の選別

評価・認定

迅速化

技術のスパイラルアップ

技術の開発・実用化